



—九州地区の研究紹介に代えて—

1. はじめに

九大農 長 正道

燦々と輝く太陽、そして豊かな降雨量を有する南国・九州は、林業にとっては最も恵まれた条件にあるといえよう。日田林業(スギ)、小国林業(スギ)、鉄肥林業(オビスギ)をはじめ、八女(スギ)、菊池(スギ)、玖珠(スギ)、屋久島(ヤクスギ)、球磨(球磨松)、大口(伊佐松)、芦北(マツ)、霧島(キリシマアカマツ)等々、有名無名の林業地が九州全域に分布しているのもその一つの証左であるといえるかも知れない。生長量も撫育・管理の方法によっては驚くほどのものがある。一般に九州における主要林業地はスギがその大半を占めていることも特長の一つであるといえる。スギの場合、最近では殆どみられなくなったとはいえ、山での直挿し造林も可能なくらいである。スギに次ぐものとしてはヒノキがある。このスギとヒノキで人工林のほぼ90%に達する。熊本県芦北や大分県国東等に代表されるマツは数次におよぶまつくい虫の被害により、曾ての主要樹種の地位から大きく後退した感である。また、近年、自然林としての価値が再評価されつつある広葉樹林は、九州では中央部脊梁山系の奥地林のほかは国立・国定等の公園の一部その他に小面積が散在するに過ぎず、淋しい状態である。これも自然条件や立地条件がスギ、ヒノキ等の人工林に適する九州の、ある意味での宿命なのかも知れない。

このように、スギに代表される九州の林業にも問題点がないわけでは決してない。江戸時代からの造林の繰り返しに起因する林地生産力の低下に対する懸念や大面積一斉造林による病虫害の発生、同様にして大面積伐採にもとづく林地の荒廃、さらには毎年の台風による風害、また本年にみられるような長期の日照りによる若齢林の下ばつ害、等はその一例として指挙される。一方、良質材形成のための除間伐、枝打ち等の施業技術の確立、ならびに林分密度管理の体系化、森林が有する公益的機能、等の問題も研究課題として真剣に指向されている。

以上のような問題点や研究課題が、九州における林学林業関係者のひとしくかかえる研究テーマであるといえる。そしてこれらの研究テーマに対しては大学をはじめ国立、県立林業試験場や現場林業技術者、実務家等の中で実に多種多様におよんでいる。それらの中で、ここでは林業統計研究会に直接関係があると思われる経営部門について日本林学会九州支部における毎年秋の研究発表会から、最近の発表テーマを紹介することにより、九州地区の研究紹介の概要に代えさせていただくこととする。

これらの研究発表は日本林学会九州支部研究論文集として毎回印刷公表されているが、他地区の方には目に触れる機会が少ないのでは、との考えによるものである。なお、テーマについてはⅠ報、Ⅱ報等の続報の場合は本大会とつながって重複することも考えられるが、その点は御容赦いただきたい。

A. 第31回九州支部研究発表

(昭和50年10月, 鹿大農学部, 日林九支論29)

1. 多摩川上流域における水源林の理想的あり方について(Ⅰ) 西沢(九大農)他2
2. 同上(Ⅱ) 竹下(九大農)他2
3. 森林の公益的機能と林分構造の関係解析(Ⅰ) 西沢(九大農)他3
4. 同上(Ⅱ) 関尾(九大農)他3
5. 西表島における森林の保健休養機能に関する研究(Ⅰ) 森林レクリエーション利用者のアンケート調査から 新本(琉大農)他1
6. 森林造成維持費用の推算について・観光レクリエーションの面からの考察 柳(林試九州支場)
7. 大分県「県民の森」について(Ⅲ) 用地買収とその問題点 小関(大分県)他1
8. 林木の心材形成促進技術に関する研究(Ⅴ) みかん割りによる心材形成の観察 井原(九大農)
9. 伐採計画と収獲予想について(Ⅴ) 飯塚(宮大農)
10. 熊本県間伐材搬出技術体系の開発について(Ⅰ) 吉田(熊本県)他7
11. 間伐率の変化にともなう生長予測(Ⅴ) 固定収獲試験地における予測例 森田(林試九州支場)
12. 空中写真による海岸クロマツ林の林分構造の解析(Ⅰ) 宮崎県海岸林の蓄積・生長量の推定 小泉(宮大農)他1
13. 赤外カラー写真による九州大学宮崎演習林広野地区の蓄積推定(Ⅰ) 空中写真材積回帰式の誘導 長(九大農)他3
14. 同上(Ⅱ) 7個林班, 531haの蓄積推定 村瀬(九大農)他3
15. 林分シミュレーションに対する生長モデルの研究(Ⅰ) モデル設定の概要 木梨(九大農)他2
16. 同上(Ⅱ) ワイブル分布のあてはめについて 西沢(九大農)他2
17. 写真濃度のサンプリングによる森林環境モニタリングの研究(Ⅲ) S P Rの場合 木梨(九大農)他1
18. 九州における林間放牧の実施概況について 黒木(林試九州支場)
19. 宮崎県海岸林の林分構成, 機能及び施業に関する研究 宍戸(宮大農)他1
20. 暖帯性落葉広葉樹林の特性と施業に関する研究 野上(宮大農)他1
21. 私有林の経営について 三善(宮大農)
22. 福岡県における緑化用樹木の生産量の推定(Ⅰ) 常岡(九大農)他1
23. Baden-Württemberg 州森林經理規程と森林の社会的機能 飯塚(宮大農)

B. 第32回九州支部研究発表会

(昭和51年10月, 宮大教育学部, 日林九支論30)

1. 西表島における森林保健休養機能に関する研究(Ⅱ) 森林資源の特徴および保健休養
施策の検討 新本(琉大農)他1
2. 或る自立林家の経営実態分析 青木(九大農)他1
3. 径級伐採方式による非皆伐施業の一事例・大分県速見郡山香町の西鶴定氏の山林
青木(九大農)他1
4. 伐木造材費対材価比較・スギの場合 福島(福岡県林試)
5. 素材の形質と市場価格・ヒノキの場合 福島(福岡県林試)
6. 亜熱帯性天然広葉樹林の施業改善に関する研究(Ⅲ) 安里(沖縄県林試)他1
7. 福岡県における緑化用樹木の生産量の推定(Ⅲ) モノクロの空中写真利用の問題点
常岡(九大農)他2
8. 中・小規模経営林の育林作業について 三善(宮大農)
9. 企業の林業に関する研究 三善(宮大農)他1
10. 熊本県間伐材搬出技術体系の開発について(Ⅱ) 吉田(熊本県)他7
11. 同上(Ⅲ) 路網計画について 鶴(熊本県)他7
12. 同上(Ⅳ) 施行について 坂田(熊本県)他7
13. 同上(Ⅴ) 小邦(熊本県)他7
14. スギ樹幹の上部直径の推定 長浜(福岡県林試)
15. 間伐率の変化にともなう生長予測(Ⅵ) 単木の直径生長と疎密比数との関係解析
森田(林試九州支場)
16. 成木林施肥効果の判定・施肥と間伐の解析(Ⅰ) 森田(林試九州支場)他1
17. 利用材積の直接測定に関する研究(Ⅱ) デンドロメトリーとミニコンピューターリゼーション
西沢(九大農)他1
18. ラインサンプリングによる生長量, うっぺい度および樹冠量の推定 西沢(九大農)他1
19. 森林の公益的機能と林分構造の関係解析(Ⅳ) 西沢(九大農)他3
20. 林木の心材形成促進技術に関する研究(Ⅵ) ヒノキ林分の心材形成の実態 井原(九大農)
21. 空中写真の利用による森林の公益的機能の計量法に関する研究(Ⅰ) 長(九大農)他1
22. 林分シミュレーションに対する生長モデルの研究(Ⅵ) 林分構造の推定と予測
西沢(九大農)他3
23. 同上(Ⅶ) 生長による各直径階中央値の増加量の計算について 木梨(九大農)他3

24. 伐採計画と収穫予想について(Ⅶ)

飯塚(宮大農)

(他8部門141テーマ, 4特別講演)

C. 第33回九州支部研究発表会

(昭和52年10月, 疏大法文学部, 日林九支論31)

1. 間伐材生産事例について 野田(福岡県)
2. 法正林の収支と輪伐期(Ⅰ)設定, 収穫—九州林産における資料をもとにして 山部(九州林産)
3. 同上(Ⅱ)支出, 試算, 考察—九州林産における資料をもとにして 山部(九州林産)
4. ライン調査と標準地調査の精度並びに調査費用の比較について 加賀(九州林産)
5. 暖地における森林労働の生理と心理に関する研究(Ⅲ)集材作業班の生産性と成員の心理的要因 中島(宮大農)
6. 八女林業地における慣行技術に関する研究(Ⅰ)下刈について 福島(福岡県林試)
7. 同上(Ⅱ)地力階別の地拵・下刈・蔓切費について 福島(福岡県林試)
8. 八女林業地における施業の変遷と材質の変化・品種と年輪巾 福島(福岡県林試)
9. 森林の公益的機能と林分構造の関係解析(Ⅶ) 井原(九大農)他3
10. 利用材積の直接測定に関する研究(Ⅳ)デンドロメーターの測定誤差について 増谷(九大農)他1
11. 同上(Ⅴ)ライン調査とデンドロメトリー 野上(九大農)他1
12. 森林経営計画における空中写真の応用(Ⅰ)九州大学粕屋演習林における実験研究例 吉田(九大農)他2
13. 空中写真の利用による森林の公益的機能の計量法に関する研究(Ⅲ) 長(九大農)他2
14. 福岡県における緑化用樹木の生産量の推定(Ⅴ)空中写真による生産面積推定方法の検討 常岡(九大農)他2
15. 白鹿岳標本調査試験地における固定プロットの設定(Ⅰ)材積の分散分析について 木梨(九大農)他1
16. 同上(Ⅱ) 西沢(九大農)他1
17. スギ林の間伐について(Ⅳ) 三善(宮大農)他1
18. エゴノキの施業について(Ⅰ) 田場(疏大農)他2
19. 天然生広葉樹林の利用率について 平田(疏大農)他2
20. 亜熱帯地域の森林施業に関する研究(Ⅳ)天然生熱帯有用樹の分布と林齢構成について 新本(疏大農)他1
21. 玖珠地方における保残木施業の一考察について 樋口(大分県)他3

D. 第 34 回九州支部研究発表会

(昭和 53 年 10 月, 大分県青山高校, 印刷中)

1. 広葉樹大径木における上層木の直径と本数の関係・落葉広葉樹天然生林の場合 今田 (九大農)
2. 暖帯性落葉広葉樹林の特性と施業に関する研究 (Ⅲ) コナラ天然林の物質生産 甲斐 (宮大農)
3. 亜熱帯性天然広葉樹林分の施業改善に関する研究 (Ⅵ) 安次富 (沖縄県林試) 他 1
4. 同 上 (Ⅶ) 安里 (沖縄県林試) 他 1
5. 天然広葉樹の萌芽更新について (Ⅰ) 平田 (琉大農)
6. 福岡県における緑化用樹木の生産量の推定 (Ⅵ) 常岡 (九大農) 他 2
7. 佐賀県富士町における小規模林家の施業行動 青木 (九大農) 他 2
8. 要間伐林分の林分構造に関する研究 (Ⅳ) 宮畑 (宮崎県林試)
9. 間伐が行われた固定プロットの林分構造の予測 柿原 (九大農)
10. 直径分布を示したカラマツ林分収穫表の試算例 柿原 (九大農)
11. スギの間伐について (Ⅴ) 三善 (宮大農) 他 1
12. 熊本県間伐材搬出技術体系の開発について (Ⅵ) 柴垣 (熊本県) 他 7
13. 同 上 (Ⅶ) 川野 (熊本県) 他 7
14. 林道密度と架線集材の関係について 緒方 (宮大農)
15. 民有林における集材作業に関する研究 (Ⅰ) 森田 (九大農) 他 1
16. St. Mörgen 営林署所管私有林について 木梨 (九大農) 他 1
17. 民有林の経営に関する研究 (Ⅰ) 鹿児島吹上町における模合山について 辻本 (鹿大農) 他 1
18. 風致林施業について・帯状区分皆伐作業における回帰年の推定 山部 (九州林産)
19. まつくい虫の総合防除のシステム化に関する研究 (Ⅰ) 西沢 (九大農) 他 3
20. 同 上 (Ⅱ) 写真 (フィルム) の種類によるまつくい虫被害木判読の予備テスト (Ⅰ) 長 (九大農) 他 3
21. 林分収穫表の幹材積の修正 森田 (林試九州支場) 他 1
22. 林況診断表の作成 (Ⅰ) 森田 (林試九州支場)
23. 間伐率の変化にともなう生長予測 (Ⅶ) 森田 (林試九州支場)
24. 年輪密度の制御方法に関する研究 井原 (九大農)
25. クヌギ幹材積表の調製 東中 (鹿児島県林試)
26. 利用材積の直接測定に関する研究 (Ⅶ) 増谷 (九大農) 他 1
27. 幹型 (細り) に関する考察 野上 (九大農) 他 1
28. 九州電力社有林におけるスギ林の生産量について・ワイブル分布による直径分布の

予測の検討	加賀(九州林産)
29. 東部カリマントンにおける森林調査システムの効率分析	ソエイトノ(九大農)他1
30. 林分構造と地形の関係解析に関する研究(1)	吉田(九大農)他2
31. 空中写真の利用による森林の公益的機能の計量法に関する研究(V)	山崎(九大農)他2
32. 照査方式間伐による林分構造の解析	清水(九大農)他2
33. 世界主要国における森林調査体系について(1)	西沢(九大農)

(他13部門180テーマ, 2特別講演)

II. 各人の研究紹介など

1. フライブルグ, ブカレスト6月場所日誌抄

九大農 西 沢 正 久

6月9日(晴)晴, 福岡空港発9:40の日航機で成田へ。そして成田発11:30のソ連機アエロフロートに乗る。乗る前にダルマ2本, ピース1カートンを無税で買う。モスクワまで日本語で話し, 食事も待遇も前評判よりよい。モスクワ5輪のためか? モスクワで一休みしてその日の19:20にコペンハーゲン着。ハイヤーで SELANDIA HOTEL へ。ダルマを飲んで町を一まわり。

6月10日(土)雨後曇。観光バスに乗って古城, 博物館, 人魚姫の像などを見学。夕方中華料理店でチャーハン。チボリ公園でビール。

6月11日(日)曇後晴。昨日予め見つけておいたバスターミナルに歩いて荷物を持って行き空港へバスで行く。フランクフルトに着くと, フライブルグから Prodan 先生の所に留学されている宮崎大学の飯塚氏が出迎えに来ておられる。有難い。地下鉄でフランクフルト駅へ。駅でビールを立飲みして車でフライブルグに4:30 pm 着。夕食を丘の上のレストランで二人でとる。飯塚氏体調が悪いとのことで早々に山を下る。CITY HOTEL で Warren に会う。ニュージーランド以来久しぶりでである。彼はカナダに移り, 今は今回の統計部会のリーダーである。北村先生と同じホテルで一安心。これからフライブルグ場所の始まりである。 (○)

6月12日(月)晴後雨。10:00 am 北村先生と大学の発表会場に着く。午後の発表に決る。木梨, 北村両先生は14日に決る。昼食にビールを飲んで景気をつけ, 無事終る。演題は“Dendrometry and Minicomputerization”である。夕方東大の箕輪君を出迎えて, 発表が終ったホット会と箕輪君の到着祝をする。 (○)

6月13日(火)晴。北村先生の発案で, 木梨先生と三人でフライブルグからポストバス(郵便馬車)に乗ってシュバルツバルトを北に4時間縦断し, フロイントシュタットに12時に着く。買物をして2